

2025年度版

看護部のご案内



一般財団法人 潤和リハビリテーション振興財団
潤和会記念病院

潤和会記念病院及び看護部概要

施設概要

1. 特徴

脳血管障害、脊椎脊髄外科疾患、骨関節系疾患、外傷等の救急患者に対する高度医療を提供すると共に、療養病床を併せ持つケアミックス型の病院です。従来から神経疾患のリハビリテーションを中心に、県内の地域リハビリテーションの中核を担いながら、宮崎リハビリテーション学院の併設医療機関としてリハビリテーション医療従事者育成の一役を担っています。

平成20年4月に「がん治療センター」を開設、外科手術・内視鏡手術・化学療法に加え、放射線治療装置トリロジーによるがんの集学的治療を開始し、平成23年4月に「脳神経センター」を新設しました。平成24年公益財団法人日本医療病院機能評価機構の認定基準Ver.6.0を達成し、認定病院の更新をしています。平成26年3月緩和ケア病棟24床を開設し、平成26年10月地域包括ケア病棟、平成31年3月脳卒中ケアユニットを開設しました。

2. 病院種別 ケアミックス型病院（一般病床・療養病床）



3. 病床数 446床

一般病床 291床（ICU6床、SCU6床、急性期152床、地域包括ケア52床、緩和ケア24床、回復期リハビリテーション病床 51床）

療養病床 155床（療養病床47床、回復期リハビリテーション病床 108床）

4. 診療科目 内科、脳神経内科、糖尿病・代謝内科、消化器内科、内視鏡内科、外科、消化器外科、肛門外科、腫瘍外科、乳線外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科、ペインクリニック内科、放射線診断科、ペインクリニック外科、放射線治療科、リハビリテーション科、病理診断科

5. 看護体制

急性期病棟	…………	看護配置	7対1	25対1看護補助
緩和ケア病棟	…………	看護配置	7対1	
地域包括ケア病棟	………	看護配置	13対1	25対1看護補助
回復期リハビリテーション病棟	………	看護配置	13対1	30対1看護補助
医療療養病棟	…………	看護配置	20対1	20対1看護補助
ICU	…………	看護配置	常時2対1（特定集中治療室管理料3）	
SCU	…………	看護配置	常時3対1（脳卒中ケアユニット入院管理料）	

6. 勤務体制

急性期病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養病棟、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟 ……………変則2交代制（短夜勤 長日勤 日勤）



7. 看護方式：

全ての看護単位：パートナーシップ・ナーシング・システム＋機能別看護方式



潤和リハビリテーション振興財団 理念

「リハビリテーションを究め、実践し、普及する」



潤和会記念病院の理念

「人間愛」

看護部の理念



私たちは、患者さん一人ひとりに満足していただける
心のこもった看護を提供します



潤和会記念病院看護部基本方針



1. 私たちは、患者さんの安心と信頼を得るため、適切で安全な看護を提供します。
2. 私たちは、命の尊厳および権利を尊重し、患者さんの個別性を重視した看護を提供します。
3. 私たちは、可能な限り高い水準の看護を提供するために、専門職として自己研鑽に努めます。
4. 私たちは、地域との連携を緊密にし、看護を通して地域に貢献していきます。
5. 私たちは、他の専門職と協働し、働き甲斐のある、活力ある職場環境をつくれます。
6. 私たちは、社会の変化に柔軟に対応し、組織の発展と健全な経営に参画します。

《潤和会記念病院看護部教育方針》

教育目的

○質の高い看護が提供できる看護職を育成する

○感性豊かな看護職を育成する

教育目標

- ・専門的知識と確かな技術で、安全で信頼される看護が提供できる
- ・患者の尊厳と権利を尊重し、倫理に基づいた看護実践ができる
- ・看護専門職として主体的な学習が継続できる
- ・看護の質の向上を目指して、研究的な視点をもつことができる
- ・感性を高め、人間性豊かな看護職をめざす

凛とした看護師を育てます

基本に忠実で
豊かな感性をもち
自立・自律した看護師

マネジメントラダー

レベルⅤ
レベルⅣ
レベルⅢ
レベルⅡ
レベルⅠ

クリニカルラダー

質の高い看護が提供
できる看護職

看護実践能力

知識 技術
自己啓発力・研究的視点

感性豊かな看護職

倫理観(看護観・死生観)

社会人基礎力

看護部理念
看護部基本方針

教育体系図

看護管理者

マネジメントリーダー

スペシャリスト

専門・認定看護師

ジェネラリスト

レベルⅤ

より複雑な状況において、ケアの受け手
にとっての最適な手段を選択しQOLを高
める為の看護を実践する

単独で専門領域や高度な看護
技術等についての自己教育活
動を展開することができる。看護
単位における教育的役割がとれ
る

レベルⅣ

幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実
践する

自己のキャリア開発に関して目
指す方向に主体的な研究に取り
組み、後輩のロールモデルとな
ることができる

レベルⅢ

ケアの受け手に合う個別的な看護を実
践する

自己の学習活動に積極的に取
り組むとともに、新人や看護学
生に対する指導的な役割を実
践することができる

レベルⅡ

標準的な看護計画に基づき自立して看護を
実践する

自己の課題を明確化し、達成に
向けた学習活動を展開すること
ができる

レベルⅠ

基本的な看護手順に従い必要に応じて助言
を得て看護を実践する

自己の課題を指導によって発見
し、自主的な学習に取り組むこ
とができる

所属を超え、看護部や病院から求め
られる役割を遂行できる。看護単位
の課題に対し具体的解決を図れる

所属する職場で、特殊なまたは専門
的な能力を必要とされる役割、または
指導的役割(学生指導、教育・業務・
リスク係)を遂行できる。看護単位の
課題の明確化ができる

所属する職場で、組織的役割が遂行
できる。看護チームではチームリーダ
ーやコーディネーターの役割、病棟で
の係としては、創造的能力を要求さ
れる係の役割を遂行できる

組織の一員としての役割が理解でき
部署の目標達成に向けて基準や手
順を順守した行動がとれる。日々の
看護業務においてリーダーシップがと
れる

責任の最も軽い、難易度の最も低い
軽微な組織の役割を果たす。看護チ
ームではフォロワーやチームメンバ
ーの役割、病棟の係としては簡単なル
ーチンの係の役割を遂行できる

組織的
役割遂行
能力

看護実践能力

ニーズをとらえる力

意思決定を支える力

ケアする力

協働する力

自己教育
研究能力

社会人基礎力・豊かな感性・倫理観(看護観・死生観)

新人看護師の教育体制



屋根瓦式の教育 (multi-education)体制

すべての看護師が

“自分が関わり新人看護師を育てる”という意思をもつ



新人教育プログラム



3月

4月

5月

2月

1月

12月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

入職時オリエンテーション・基礎看護技術演習
医療安全・感染管理・看護倫理・看護記録
口腔ケア・看護必要度・接遇研修・リハビリテーション研修

12か月フォローアップ研修

*次年度入職前研修
(電子カルテ操作
ナースのためのマナー講座)



災害看護

1か月フォローアップ研修
糖尿病の治療と看護
劇薬毒薬の取り扱い
院外研修



静脈血採血



食事援助

輸血と麻薬の取り扱い
フィジカルアセスメント

3か月フォローアップ研修
救急救命処置技術



口腔ケア

内定者お食事会



感染管理



2025年度 新入職看護職員

6か月
フォローアップ
研修
多重課題



ナースの1日



8:30
申し送り



6:00
モーニングケア



9:00
患者さんに
あいさつ



師長とリーダーとのラウンド



夜間
巡視



10:00
ベッドサイドケア

20:00
夜勤者へ
申し送り



看護学生からの報告



20:00
イブニング
ケア



外科回診



パートナーとの
情報交換

12:00
食事介助



18:00
食事介助

カンファレンス



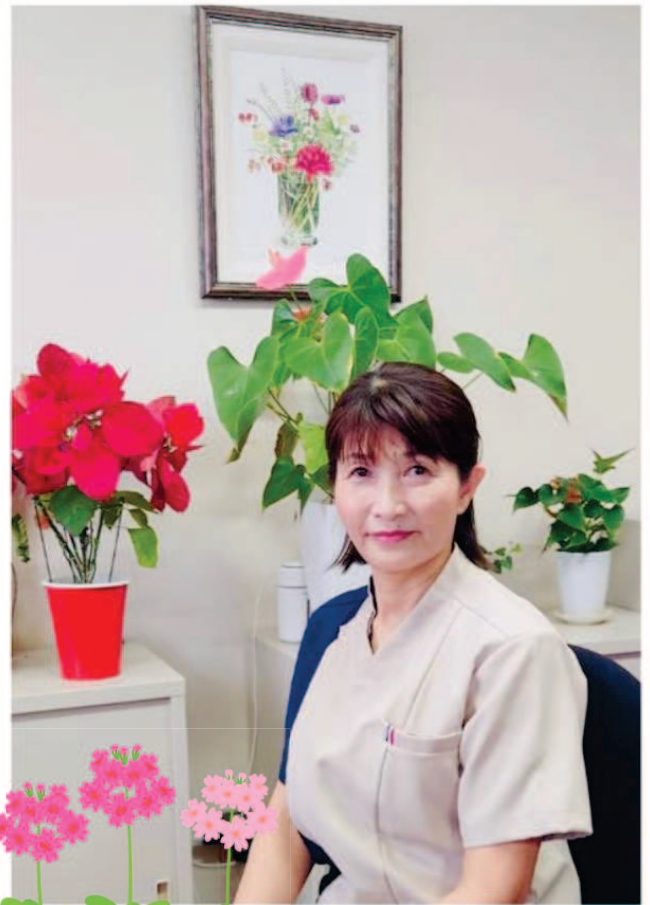
部署紹介

看護部



勝吉 武本
副看護部長 クラーク

西橋 亀田
看護部長 副看護部長



看護部長
西橋富美江
(認定看護管理者)



医療安全管理室 師長

医療安全管理室は、病院を利用される患者さんやご家族が「安心・安全」な、医療が受けられるよう環境を整えること。職員が安全で安心できる医療の提供ができるように、微力ながら活動しています。



外 来

一般外来、脳神経センターを含め19の診療科があります。一般の診療部門や放射線治療などの治療部門もあります。患者さんに安全で安心して検査・治療を受けていただけるように日々笑顔で頑張っています。



ICU

ICUは、6床あり、脳神経外科・外科・整形外科・泌尿器科などの周術期管理を行います。また、救急外来に搬送された重症患者や院内で急変した重症患者の呼吸・循環を始め中枢神経障害の治療や代謝栄養管理などの全身管理を集中的に行う部門です。看護師が20人おり、お互い切磋琢磨しながら日々の看護に取り組んでいます！



SCU

全国でも珍しい脳卒中ケアユニット(SCU)です。スタッフの数は少ないですが、専門医、看護師、セラピスト、医療相談員を含めた多職種で協力し、脳卒中の患者さんが1日でも早く回復するようチーム医療で頑張っています。



手術室・中央材料室

手術室では、脳神経外科、外科、泌尿器科、整形外科など様々な診療科の手術を17人の看護師で担っています。周術期において患者の安全を守り、手術が円滑に遂行できるように専門的知識と技術を提供しています。お互いを尊重し、前向き・創造的・協働的なチーム作りに取り組んでいます。





急性期病棟

N3F



N3階は外科病棟になります。外科医や看護師、看護補助者、セラピスト、ソーシャルワーカーなどの医療チームで患者さんのサポートをしています。入退院が多く活気のある病棟です。患者さんやご家族との関わりの中でやりがいを感じる機会が豊富にあります。

N5F

主に脳神経内科・脳神経外科の患者が入院します。重症患者が多く緊急の治療・処置を受ける患者に迅速かつ最善の看護を提供しています。N5Fスタッフは子育てパパ・ママが多く、思いやりのある優しいスタッフが揃っています(*^_^*) チームワークも抜群で、WLB（ワークライフバランス）を推進してます！



N6F

N6病棟は、泌尿器科・整形外科・脳神経内科・呼吸器内科など46床からなる混合病棟です。急性期の疾患や怪我に対して、緊急かつ適切な医療を提供するためスタッフは専門的知識や技術と優しさを持って患者さんのケアに取り組んでいます。



N4F 地域包括ケア病棟

N4Fは、地域包括ケア病棟、52床です。看護師27名、看護補助者14名です。住み慣れた地域へ戻るために退院支援を他職種と協働して患者・家族のサポートを行っています。



回復期リハビリテーション病棟

S3F

回復期リハビリテーション病棟では、脳血管疾患や骨折、廃用症候群を有する方々に、機能障害の改善や社会復帰を目的としたリハビリテーションを医師・看護師・リハビリテーション療法士・医療ソーシャルワーカー等とチーム医療の中で在宅復帰に向けて支援を行っています。



S4F

回復期リハビリ病棟のS4病棟です。患者さんが安心して退院できるよう、退院後の生活を見据え日常生活の援助を行います。病状が回復する過程に関われることに看護のやりがいを感じています。スタッフみんな明るく楽しくをモットーに看護を心がけています。



S5F

私たちは、患者さんやご家族が最も大切にしている「もとの身体」「もとの生活」に戻りたい気持ちに寄り添えるように、医師、看護師、リハビリセラピスト、管理栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカーの強力なチームで24時間良質なリハビリができるように取り組んでいます。回復していく患者さんやご家族の笑顔で看護の醍醐味を感じます。



S2F 医療療養病棟

S2F病棟は、いつも元気な声が聞こえる明るい病棟です。
気配り・目配り・心配りをモットーに、日々ケアを行っています。
チームワークを大切にして、よりよい看護ケアの提供を目指しています☆





S6F 緩和ケア病棟



緩和ケア病棟が開設され12年目を迎えました。24の部屋はすべて個室で、患者さんやご家族が我が家のように過ごせる場が提供できるように努めています。入院患者さんは、がんによる痛みやつらい症状があり、そのさまざまな苦痛を和らげ、患者さんやご家族がその人らしい生活をおくることが出来る様に支えていく病棟です。

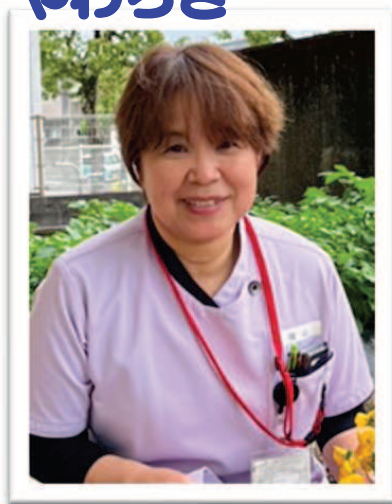
老人保健施設 ひむか苑



ひむか苑は、介護福祉老人施設として家族や社会との結びつきを大切にし、明るく家庭的な雰囲気の中で生活の質を高めるための総合的なケアを提供しています。笑顔あふれる空間です



サービス付き高齢者向け住宅 看護小規模多機能型居宅介護事業所 やわらぎ



看護小規模多機能型居宅介護（通称かんたき：看多機）とは、「訪問（訪問介護）」「通い（通所介護）」「泊り（短期入所）」の介護サービスに「訪問看護（医療）」の機能が加わった介護と医療を一体的に提供するサービスであり、地域包括ケアシステムの中心的役割を担っています。平均年齢は94歳。利用者一人一人の交流を大切にしながらじっくりと向き合ったケアの提供を行っています。





訪問看護ステーション やわらぎ



訪問看護ステーションやわらぎは「あんしん・あったか・あっとほーむ」の理念を掲げ、利用者のご家族が安心して在宅生活が送れるように、心のこもった温かい看護を、家族のような思いで提供しています。かかりつけ医師の指示のもとに、専門スタッフが直接ご自宅や施設に訪問して、子どもから大人まで、病気や障がいのある方の看護・リハビリを実施しています。

在宅・慢性期パッケージ 特定看護師



井口珠代

● 訪問看護を受けている利用者さんで、病●
● 院を受診することが大変な場合など、特●
● 定行為研修を受けた看護師は、医師があ●
● らかじめ作成した手順書（指示）によっ●
● て、タイムリーに特定行為を実施するこ●
● とができます。私が受講した特定行為研●
● 修の在宅・慢性期パッケージの中には、●
● 気管カニューレの交換、胃ろうカテーテ●
● ルの交換、褥瘡のデブリなどが含まれま●
● す。少しずつですが、医師の診察を待つ●
● ことなく処置を受けることができると喜●
● ばれています。



認定看護師と特定看護師が活躍中！！



当院には、特定分野で知識や技術を高めた認定看護師・特定看護師が看護ケアの質の向上のため活躍しています。

皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡や創傷のケア、ストーマケアのスペシャリストです。
創やストーマにより、今までの自分の日常が変わってしまうこともあります。そのため、今までの日常に近づけるために、患者さんやご家族にとって、一番よいケアは何かを一緒に探していきます。

皮膚・排泄ケア認定看護師



松原 薫



認知症看護認定看護師

福満 理恵



認知症の人は、環境の変化で様々な症状を起こすことがあります。そのため、自宅で愛用していた物（時計や写真）を持参してもらったり、カレンダーを使用しリアリティオリエンテーションを実施するなど環境を整えることが重要となります。認知症の人に寄り添いながら安心できる場を提供できるように、認知症ケアチームで支援しています。

感染管理認定看護師

永迫 望



感染管理認定看護師は、医療施設を利用する患者さん・ご家族訪問者・現場で働くすべての人々を感染源から守ることが主な役割となります。患者さんへ安全な療養生活が送れるよう、スタッフには安心して働ける職場環境になることを目指し、日々頑張っています。

感染管理認定看護師



湯野 里美



『感染管理認定看護師の役割は、患者とその家族、病院内で働くすべての職員、地域の皆様を感染から守ることです。2015年に感染管理認定看護師の資格取得後、各部署での職員教育やラウンドなどの活動を行っています。現場とのコミュニケーションを大事にし、現場に合わせた感染対策を一緒に考えることを心掛けています。そして、院内で働くすべての職員が正しい知識と技術で、感染対策を実践できることを目指していきます。』



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師



脳卒中を発症した急性期では、神経症状と全身状態を観察し、重篤化回避につとめております。また、安全を確認しながら早期離床に取り組み、他職種と協力して生活の再構築に向けた日常生活動作を支援してまいります。脳卒中発症・再発予防についても一緒に考え、その方らしい生活が送れるようお手伝いができたらと思っております。



佐伯 亜里沙

緩和ケア認定看護師



田中 香織



緩和ケアは生命を脅かす疾患をもつ患者さんやご家族がその人らしく生きられるように、いのちに寄り添うケアを行います。

からだだけでなく心のつらさや生活する上で生じるさまざまな苦しみにも焦点をあて、それを少しでも和らげ穏やかに過ごせるように患者さんにご家族と一緒に頑張っています。

現在、猛勉強中!!

久我 あい



当院は専門・認定看護師の育成に力を入れています
当院で経験を積みチャレンジしてみませんか

久保田 葵

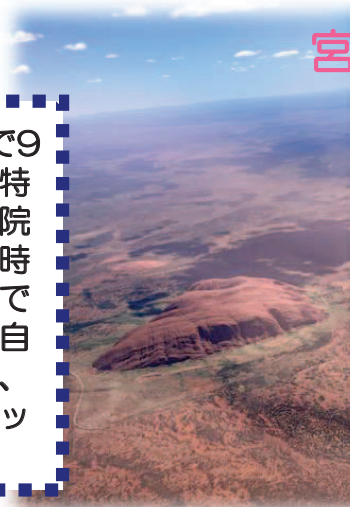


私が認知症看護認定看護師を目指した理由は、認知症の方の対応がとても苦手だったからです。教育課程を修了した今も「得意になりました」と宣言することはできませんが、認知症の人を見る視点やアセスメントの方法を学んだことで根拠づけて看護ケアを提供することの重要性は理解できるようになりました。

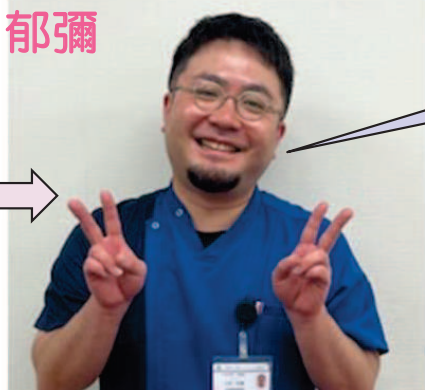
潤和会記念病院の脳神経外科で7年経験後、ICUに7年在籍しています。昨年より集中治療領域の特定行為看護師を目指し実習を行っています。当院ではキャリアアップができる機会があり学びが多いと感じています。

私は一般病棟で約5年、現在はICUで9年勤務しています。去年から看護師特定行為研修を受講しており、現在当院で実習しています。働きながら何百時間もある研修動画を見ることは大変でしたが、知識を深めることができ、自信にも繋がりました。また私は毎年、長期休暇を取って旅行をしてリフレッシュしています。

宮島 葵



玉榮 郁彌



髪も切って気合い入れました～
頑張ってきました～す!!

私はこれまで大学病院の救命救急センターで、プレホスピタルケアや救急看護を中心に経験を積んで参りました。現在は潤和会記念病院ICUに所属し、2025年度大阪府看護協会クリティカルケア認定看護師教育課程で学んでいます。

看護部で取り組んでいる3つのこと

☆その1

フィッシュ！哲学の考え方を取り入れてます

「フィッシュ哲学」とは、アメリカ西海岸に実在する魚市場から広まりました。従業員達の士気が低く、倒産寸前の魚市場でしたが、そこで働く人々が「仕事を楽しむ(遊び心を持つ)」、「相手を喜ばせる」、「態度を選ぶ」、「関心を向ける(仕事や相手に)」という四つのマインドを持って仕事を行ったところ、文字通り“ピチピチ”と活きのいい職場に生まれ変わったのです。今では世界の多くの企業や医療・福祉施設で取り入れられています。

＜＜フィッシュ活動の一部をご紹介します＞＞

1. 遊ぶ (Play)

楽しみながらやる仕事ははかどる



2. 人を喜ばせる (Make Their Day)

患者さんやスタッフのことを考えて行動しよう

3. 注意を向ける (Be There)

あなたを必要としている瞬間を見逃さないよう、気配りをしよう



4. 態度を選ぶ (Choose Your Affitude)

ポジティブな姿勢で出勤しましょう。



☆その2

看護方式はPNSを導入しています

このシステムは、パートナーシップ・ナーシング・システムといい、対等なパートナー同士が2人1組で複数の患者さんを受け持ち、その成果と責任を 共有する看護方式です。福井大学医学部附属病院で開発されました。

その特徴は

- ◆ 新人もベテランも共に成長する
- ◆ 2人で担当するので、患者さんも安心
- ◆ 業務の効率化に繋がり、時間外の業務が少なくなる
- ◆ 新人や途中入職者も、常に相談相手がいるので、職場に早く慣れる



潤和会記念病院における PNS導入の目的

- 1.職員一人ひとりの良さを引き出し、足りない部分を補完し合うことで、患者さんに安全で満足していただける看護を提供する
- 2.コミュニケーションを円滑にし、活気あふれる職場にする
- 3.効率的に業務を行い、時間外勤務を削減し、仕事もプライベートも充実する

成功のカギは“パートナーシップマインド”

- ・相手を価値のある、尊いものとして大切に扱うこと
- ・信じて頼りにすること
- ・周りの状況をよくみて思いを巡らすこと(慮る)



☆その3

WLB ワーク・ライフ・バランスを推進しています

私たちは、日本看護協会が実施する「看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業」に平成25年から3年間参加し、今年度、日本看護協会よりカンゴザウルス賞をいただきました。

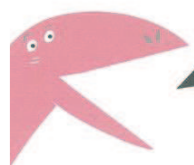


活動内容は

- ・WLB通信の発行
- ・ママクラブ、シニアクラブ
- ・職員満足度調査
- ・多様な勤務形態の導入
などなど

それぞれの生活を尊重した
お互いさま意識
のある環境・風土

いろんなイベントに
参加してます



Be
Happy!

ワーク・ライフ・バランス(WLB)とは、
個人それぞれのバランスで、仕事と生活の両立を
無理なく実現できる状態のことです。
仕事と生活を調和させることで、両者間に好ましい
相乗効果を高めようという考え方と
その取り組みをさします。

幸せの連鎖は、
看護職の
WLB 実現から
始まります。



2025年度新人看護職員です



N6F急性期病棟(46床) 泌尿器科 整形外科 内科	S6F 緩和ケア病棟(24床)
N5F急性期病棟(52床) 脳神経内科・外科 ペイン	S5F 回復期病棟(54床)
N4F地域包括ケア病棟(52床)	S4F 回復期病棟(54床)
N3F急性期病棟(54床) 消化器内科・外科	S3F 回復期病棟(51床)
ICU(6床)・SCU(6床) 手術室(5室)	S2F 医療療養病棟(47床)
医事部・外来・脳神経センター・放射 線治療室・臨床検査室・放射線・患 者支援室・薬剤管理室	訪問看護やわらぎ 通所リハビリテーションあびりんす